

利活用ミーティング活動報告

平成 31 年 2 月 27 日

幌向再生ワークショップ 利活用ミーティング

1. 地域と連携したイベントの開催

ブース出展・ポスター展示・ミズゴケ展示

- 南幌町や地元農家の若手グループが主催する地域イベントに参加し、テントブースを出展して、ポスター展示、ミズゴケ展示、パンフレットの配布等を行った。
- イベントの様子は、地元広報誌に紹介される等、地元へのPRが徐々に進行している。

- p 夕張川治水感謝式 (7/1(日))
- p 南幌町商工会ふれあいまつり (7/21(土))
- p 野祭 (YASAI) (9/1(土))



地元農家若手グループ主催のイベント(野祭)



南幌町ふれあいまつり(上)
広報なんぽろへの掲載(右)

他にも、石狩川の保全活動をしている方々が出展している、石狩川に少しでも興味を持ってもらえるようなキツカケ作りがなされています。ミズゴケの里親活動も行っていて、誰でも育てられるよう工夫されています。石狩川に生息しているコケを私も分けていただき、育てている最中です。順調に育っているコケが可愛いです。

1. 地域と連携したイベントの開催

教育機関との連携

② 南幌町教育研究協議会への事業紹介（6/14(木)）、出前講座（H26・H28）

① 環境学習・体験学習を通じて、地域社会の学びの場などに活用していくため、教育関係者や地元高校等へのPR、現地紹介、出前講座を行っている。

南幌町教育研究協議会への事業紹介・現地説明



南幌町の自然の成り立ちや自然再生の取り組みについての出前授業



1. 地域と連携したイベントの開催

近隣地域で活躍するNPO団体との連携

p 石狩海岸海辺ファンクラブの子供たちへの現地案内

南幌町小中学校の先生らで構成される理科サークル（南幌町教育研究協議会）より、幌向再生の取り組みに関心を寄せていただき、先生6名を対象に事業紹介、現地説明を行った。



1. 地域と連携したイベントの開催

ミズゴケ里親制度（仮称）

Ⅰ 湿原再生フットパス等のイベント時に、ミズゴケ瓶を配布し、ご家庭で育苗していただき、成長したミズゴケを再び幌向再生地に導入するミズゴケ里親制度（仮称）の取り組みを試行している。

イベントなどで配布



ご家庭で育苗



これまでの配布実績 約270個

幌向再生地に導入



ミズゴケポットの育て方

日当たりの良い場所が大好き



ミズゴケはおひさまが良く当たるほど成長します。1日中、おひさまの当たる場所において育てましょう！30℃以上だと弱ってしまうので、注意してください。

水やりは、こまめにする必要はありません。ポットの中の水がなくなったら、霧吹きで水をミズゴケ全体にかけてあげて、ポットの中に水がたまるようにします。肥料はいりません。



少しだけ水をためる

押さえたあとで、また大きくなるよ



指で優しく押さえてね

伸びすぎてきたら、上からそっと押してあげましょう。ミズゴケが密集してボリュームが増えます

1. 地域と連携したイベントの開催

北海道開発局の取り組み

北海道命名150年目を記念した北海道開発局の取り組みとして、『泥炭地の開発と石狩川治水の歴史』を巡る3回のツアーを開催し、合計50名の参加者を得た。

第1回 7/28(土):12名、第2回 8/18(土):18名、第3回 9/1(土):20名 ツアー催行最大20名



泥炭を手にとってみる
※WS協力



泥炭の柔らかさを見る(ポール挿入)



泥炭の上を歩いてみる、堆積層を見る



湿原のモデル(標本) ※WS協力

2018年7月9月
YOB072

北海道命名150年記念インフラ歴史ツアー第二弾!

国家的一大プロジェクト「篠津泥炭地開発」と
石狩川治水の歴史

出発日 7/28(土)・8/18(土)
9/1(土) 各出発日20名限定!

旅行代金お1人様(大人・子供同額)
5,580円

当ツアーは、「北海道インフラPR実行委員会」より
ツアー代金の一部を助成いただいております。

■募集人員/20名 ■最少催行人員/10名 ■添乗員/同行
■昼食/昼食1回 ■利用バス会社/北海道中央バス又は同等
■集合場所/石狩市中央バスセンター前(札幌市中央区大通西1丁目/北海道四季劇場前)

石狩川治水(空撮)

★ツアーテーマ★
実際に現場を巡りながら、泥炭地の開発や石狩川の治水事業の歴史に触れ、安心して生活し、農業ができるようになり、美味しいお米や野菜が穫れる肥沃な農地帯となった地域の成り立ちを学ぶことで、インフラ整備の効果を実感できるツアーです。

★現在、日本有数の穀倉地帯となっている篠津地域は、かつては農耕が困難な軟弱で水はけの悪い泥炭地でありました。また、その地域を流れる石狩川が、度々氾濫し水害を引き起こしました。

★明治期からの治水対策により、石狩川流域の水害被害の軽減が図られ、水位低下により土地の排水を促進し、さらに世界銀行の融資を受けて行われた国家的プロジェクト「篠津泥炭地開発」による排水・灌漑施設等の整備により、農地の基盤が固まりました。

地元のお米と野菜のご昼食!

北の大地マルシェ

岩見沢市北村にある農産物直売所
地元で採れた野菜や地元産物を使った加工品を販売しています。
今回のツアーでは、地元で採れた野菜とお米を使った昼食を提供させていただきます。

篠津泥炭地資料館

月形郷土博物館

石狩川開工

篠津運河

石狩川防災ステーション

横間地区自然再生地

篠津泥炭地開発(篠津運河)当時の風景

運河開通機

運河開通機

ツアーに参加の際は、アンケートへご記入をお願いしております。
当ツアーは、こちらのパンフレットが最終日程表となります。

※写真は全てイメージです

<http://www.cb-tours.com>

2. 幌向再生地の利活用に向けた整備

Ⅰ 幌向再生地の利活用向上に向けて、駐車スペースの整備を進めている。



2. 駐車スペースの整備

- Ⅰ 地域活動やNPO等による環境学習、体験イベント等に利用しやすいよう、駐車スペースの整備を進めている。
- Ⅰ 実際のイベント時の利用状況を観察し、使いやすく、居心地がよく、景観に配慮した整備案を検討している。



2. 駐車スペースの整備

- Ⅰ 駐車スペースを拡大するとともに、泥濘対策として砂利を敷設。
- Ⅰ 駐車に支障となる樹木の伐採、ロータリーとなる樹木を残置し、利用しやすい環境を整備。



2. 駐車スペースの整備

1 休息地からの視界に入る大きな鉄塔の目隠しとして、湿原景観に馴染む樹木の配置を検討。



湿原らしい景観を維持している。

3．今年度のまとめ

- I 夕張川治水感謝式（7/1（日））、南幌町商工会ふれあいまつり（7/21（土））、野祭（9/1（土））、ふらっと南幌フットパス（9/2（日））において、ブース出展、パネル・ミズゴケ展示、チラシ配布等を行い、取り組みのPR、情報発信を行った。
- I 北海道開発局主催のインフラ歴史ツアーを開催し、合計50名の参加者に泥炭と触れ合う機会をつくり、取り組みのPR、情報発信を行った。
- I 幌向再生地の利活用促進に向けた整備について、駐車スペースの整備案を検討し、11月に一部施工を行った。次年度以降、樹木の配置、案内看板等の整備を進める。